

第 39 回すいとびあ江南運営委員会会議録

日時 平成 31 年 2 月 13 日（水） 午後 2 時 00 分～午後 3 時 55 分

場所 すいとびあ江南 2 階 研修室 B

委員出席者 岩田一隆、尾関健治、小澤久、佐藤和弥、鶴見寿子、
永井則夫、永井皓、森川公嗣、横山史明 計 9 名

指定管理者出席者 2 名

傍聴者 0 名

資料① ・すいとびあ江南利用状況について（平成 28～30 年度の 4 月～12 月）
・地域別宿泊室利用人数（平成 28～30 年度の 4 月～12 月）
・地域別宿泊室利用室数（平成 28～30 年度の 4 月～12 月）

資料② ・平成 30 年度すいとびあ江南来館者アンケート集計シート（4 月～12 月）

資料③ ・平成 30 年度すいとびあ江南のふるさと文化育成等事業について（4 月～12 月）

資料④ ・平成 31 年度すいとびあ江南指定管理者事業計画について

資料⑤ ・江南市公共施設再配置計画（概要版）等

1. 委員長あいさつ

2. 議題

(1) すいとびあ江南の利用状況（平成 30 年度 3 四半期分の報告）について

議 長 指定管理者に説明を求める。

指定管理者 資料①に基づき説明する。

委 員 宿泊室については、改装工事等があったため利用者数が減ったのは理解できる。問題は、宿泊室の利用者と他の施設との関連である。例えば、宿泊して宴会をしたり、研修をしたりなど、宿泊室と他の施設との兼ね合いはどうなっているか。

指定管理者 過去の利用者については、リスト化しており、その中で、大広間と宿泊、宴会と宿泊など利用の内容を記録している。内容の分類もできているので、地道な営業活動の継続が一番重要だと考えているが、大幅に利用率等を上げるには景気が回復することが一番重要で、そうなることで地道な営業活動の成果が出るのではないか。しかし、他力本願ではいけないため、リストだけではなく、それを活用した活動が重要になってくると思う。

- 委員 ヘルスルームの利用者数は増えてきている。宿泊室を売りに進めていく一方で、健康を意識した売りも必要であり、集客につながってくると思う。
- 指定管理者 まずは、すいとぴあ江南に来ていただき、どのような施設があるか知っていただくことが重要である。ヘルスルームの利用者は増えているが、宿泊であれば3人1組で泊まった場合、1人1泊3,580円に対し、ヘルスルームは1人1回につき270円にしかない。ご意見を参考にしつつ、バランスを保ちながらアピールしていかなければならないが、全体的な売上を見たり、戦略を立てたりするときには金額が大きいものが減ると影響も大きくなるため、今後も、すぐ努力が実るところの優先順位を上げて取り組んでいきたい。
- 指定管理者 健康志向については、今後、施設の利用者を増やしていくため必要な切り口だと思う。ヘルスルームに注目しているが、それだけではなく健康志向をもっと大きなジャンルで捉えると集客できる方法があると思うので、貴重な意見として今後活かしていきたい。
- 委員 名鉄犬山ホテルが今年の8月で営業が終了するため、ライオンズクラブやロータリークラブは例会を別の会場に変更すると聞いている。犬山へ営業範囲を広げてはどうか。
- 指定管理者 大成株のホテル部門の部長が名鉄犬山ホテルの総支配人と話し合い、犬山ホテルの利用者の中で安く泊まりたいという方や、大きな工事をする際の施工業者にすいとぴあ江南を紹介してほしいとお願いしている。
- 委員 宿泊室について、週末や連休の稼働は満室状態なのか。
- 指定管理者 ほぼ、満室状態で稼働している。
- 委員 平日利用される方は、ターゲットが決まってくるのか。
- 委員 決まっている。平日を埋めるため、月曜休みの理容関係や美容関係に営業を展開している。
- 委員 平日のターゲットに対しては、ホームページに分かりやすく魅力的なパッケージを載せると選びやすくなる。すいとぴあ江南を利用したことがない市外や県外の団体企業は、今時、ホームページを利用したり、「宿泊 研修」と検索して探すことが多いと思う。検索結果を見ても、すいとぴあ江南は上位に上がってこず、今のホームページでは施設の良さが伝わってこない。一つ一つの施設については丁寧に載っているが、便利さや施設の利用方法などが分かりにくい。この施設は、

こんな良いところがあるとアピールするのではなく、この施設を利用することでこんなことができると先を見据えた形でホームページを展開し、より見やすいものにすると思われやすくなると思う。

- 指定管理者 平日を埋めると稼働率は上がる。一つ一つの施設を載せるだけではなく、研修パック等を打ち出すことが必要だと思う。
- 委員 平日の稼働率を増やす場合は、ターゲットを高齢者にしても良い。その場合、高齢者はホームページを見ないため、老人会などに営業すると集まりやすいと思う。

(2) 利用者からの意見等（平成30年度3四半期分の報告）について

- 議長 指定管理者に説明を求める。
- 指定管理者 資料②に基づき説明する。
- 委員 連泊は、どれ位いるのか。
- 指定管理者 あまり多くない。朝食はミニビュッフェ形式をとっており、基本的に毎日メニューは同じであるため、2、3か月に一度の頻度でアンケートでメニューに関する意見をいただく。我々も課題として捉えており、次のレストランの委託先とは朝食をどうするかも踏まえ、夕食などメニュー構成を検討している。
- 委員 朝食を完全ビュッフェ形式にしてはどうか。
- 指定管理者 宿泊室数が多ければ、種類を増やし魅力あるビュッフェにできるが、すいとぴあ江南の場合、満室でも23室、利用総人数で約100人であるため食品ロスも考えると完全ビュッフェ形式では単価が高くなってしまう。予約の関係上、4月からも当分の間、同じメニューで運用するが、早ければ10月から新しいメニューに変更できるようにレストランの委託先と意見のすり合わせを進めている。

(3) すいとぴあ江南のふるさと文化育成等事業（平成30年度3四半期分の報告）について

- 議長 指定管理者に説明を求める。
- 指定管理者 資料③に基づき説明する。
- 委員 ウインターイルミネーションについて、平成30年度の実績では59,850円だが、平成31年度予算では524,000円となっており、金額が大きく増えた理由は何か。
- 指定管理者 今年度は委託業者ではなく、すいとぴあ江南職員だけで飾り

付けを行った結果、人件費や委託料が発生しなかったが、職員にかなりの負担があった。そのため、来年度は業者に依頼するか検討中であり、このような金額設定にした。

(4) 平成 31 年度すいとびあ江南指定管理者事業計画について

- 議長 指定管理者に説明を求める。
- 指定管理者 資料④に基づき説明する。
- 委員 平成 31 年度の指定管理料が約 1 億 1,000 万円となっており、今年度より 2,800 万円ほど増えている。その分の収益をあげられるよう努力していただきたい。
- 委員 すいとびあ江南の 2 階、3 階の展示室について、他の使い道はないのか。
- 事務局 過去に検討したこともあったが、今のところリニューアルして活用する計画はない。
- 委員 指定管理者としては、どう思うか。
- 指定管理者 コストがかかり、また、今後どう利用するかを考えていないため、今の運営のままで何とかしていこうと考えている。
- 委員 収益を増やす目的で、2 階、3 階の展示室について何とかできないだろうか。
- 委員 以前、写真パネルが古くなったため四季折々の写真を新しくリニューアルしたことがある。市外の宿泊者の中には、展示室をご覧になっている方もおり、貴重な小道具も数多く設置してある。現状の中で収益を上げる努力を積み重ねていきたいと考えている。
- 委員 資料の中で、費用対効果と記載してあるが、これは運営する側の言葉である。費用対効果を求めるということは、ある意味で利用者の不満足につながると思う。一方、利用者サービスの向上との記載もあり、逆の言葉を使っているが、整合性はどうか。
- 指定管理者 基本的に利用者の利便性の向上、顧客満足をベースに考えている。その上に費用対効果を意識していると理解していただきたい。
- 委員 訪問営業活動については、今後も続けて欲しい。

(5) 江南市公共施設再配置計画について

- 議長 事務局に説明を求める。
- 事務局 資料⑤に基づき説明する。

委員 すいとびあ江南として存続してほしいが、一番大事なのは江南市の財政の確保だと思う。

委員 今までは人口増加を前提に計画を立てていたが、現在、江南市では人口減少を前提に今後 10 年間の計画を立てている。人口減少の問題や行政組織の非効率性を改善するため、周辺の多くの市町村は合併している。その結果、合併した市町村は同じ施設が増えてしまったが、地区によっては公共交通機関がないため施設を壊すことに反対運動が起こっているケースもある。しかし、人口が減り、税収が減る中で全国的に公共施設の在り方を分析しており、江南市も公共施設再配置計画の策定に至っている。

委員 今まで江南市が是としてきたことが、是ではなくなってくる可能性もある。学校においても、江南市は最近エアコンの設置に至った。他市町では、既に進めており、施設統合などの工夫をする中で、住民ニーズに合わせる動きが出てきている。江南市も遅れないよう、現状維持だけでなく住民には辛抱してもらいながら、現在の生活様式に合わせたものに切り替えていこうと江南市公共施設再配置計画を立てた。

委員 すいとびあ江南は、江南市に宿泊施設がなかったことから建設した施設だが、時代が変わり公共施設の再配置の問題が出てきている。江南市として苦渋の選択ではあるが、何とか住民に理解を得る中で向き合って進めていきたい。

委員 草井地区の高齢者は、すいとびあ江南のレストランを利用している方が多く、行くところが無くなると心配している。少しでも長く存続できるように、委員にも協力をお願いしたい。

委員 施設の存続に向けて難しい問題は、すいとびあ江南が市街化調整区域だということである。今と同じ様に、民間が宿泊施設として運営できるなら問題はないが、市以外の団体がこの場所での施設運営をすることは並大抵のことではできない。一方、江南市で唯一のコンベンションホールを失うのは悩ましいことである。

事務局 こういった方針は出たが、今後 5 年間は第 4 期指定管理期間ということで今までどおり皆様にご利用いただくため、大成(株)と協力し、責任をもって運営していく。

3. その他

議 長 事務局に報告を求める。

事 務 局 次回の運営委員会は、5月の開催を予定しています。